

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

丸一鋼管株式会社（証券コード: 5463）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

AA-
安定的

■格付事由

- (1) 国内トップの独立系電縫鋼管メーカー。鋼管事業に特化しており、生産体制の合理化や内製化が進んでいる。全国各地に製造拠点を有し、輸送コストや機動的な納期対応などの面で優位性を持つ。また、国内外の高炉メーカーから原材料である熱延コイルの仕入れを安定的に行っている。海外ではアジアや北米などに事業展開している。連結子会社の丸一ステンレス鋼管は主に半導体製造装置や自動車関連業界で使用される BA 精密細管に強みを有する。
- (2) 当面はコロナ禍以前を上回る業績を維持できる見通しである。BA 精密細管の生産能力増強に伴って丸一ステンレス鋼管の収益力が高まる方向にあり、引き続き利益を押し上げるとみられる。電縫鋼管ではタイムラグはありながらも原材料の値上がりに対して製品価格の改定を実現できており、今後も一定の margins を確保可能と考えられる。また、鋼材市況の回復を背景に北米事業の業績が上向くと想定される。一方、ベトナム SUNSCO 社は鋼材需要の減少や市況の下落によって業績が落ち込んでいる。輸出の増加や家電メーカーを中心とした販売先の拡大によって業績を回復できるか確認していく必要がある。財務の健全性は極めて高く、特段の懸念はない。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 23/3 期経常利益は 346 億円（前期比 10.0%減）と過去最高益となった 22/3 期からは減益の計画である。国内事業で販売価格の改定が進展したものの、鋼材市況の下落などを要因とした海外事業の減益による影響が国内での増益を上回る見通しである。24/3 期以降もおおむね安定した利益が見込まれる。国内の建設向けでは当社製品が主に使用される中小物件の工事の延期やキャンセルによって需要が弱含む可能性があるが、自動車向けでは回復が見込まれ、全体では販売数量は底堅いと考えられる。また、丸一ステンレス鋼管における BA 精密細管の増産投資による効果が発現し、利益を底上げすると想定される。
- (4) 23/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 79.8%と良好な水準にあるほか、実質無借金が維持されており、財務基盤は強固である。今後は丸一ステンレス鋼管における増産投資などが計画されており、当面の設備投資額は従前と比べ高い水準で推移するとみられる。ただ、営業キャッシュフローや自己資本の見通しを踏まえれば、財務内容が悪化する可能性は低い。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：丸一鋼管株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年3月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「鉄鋼」（2022年6月15日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 丸一鋼管株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル